第8章 信頼される市政運営

将来展望

市民との協働や役割分担のもと、健全な財政運営や適正な人事管理などにより、効率的・効果的な行政経営が行われ、最少の経費で最も効果的な市民サービスが提供されている社会を形成します。個人情報が安全に管理されているとともに、情報通信基盤やシステムなどの整備により、市民が必要な情報を活用できる社会を形成します。

基本施策の展開戦略

地方分権時代に対応した自治体経営を推進するために、総合計画や年次毎の明確な方針などを通じて市政の方向を明らかにし、政策を実現するため、適正な予算および人の配分によって「ヒト・モノ・カネ・情報」を整え、全庁的な改革への取り組みを促進するとともに、部局間の連携を図りながら効率的・効果的な行財政運営をめざします。

市民生活を維持する財源確保のために、公平かつ公正な市税の課税と収納を行います。また、情報公開・個人情報保護制度の適正な運用に基づき、IT(情報技術)を活用した行政運営の効率化と地域の情報化を推進することによって、電子自治体を構築し、市民と行政が情報を共有してお互いの役割と責任を自覚しながら深い信頼関係をもって協働できるまちをめざします。

施策体系図

8.信頼される市政運営 市民への情報発信と市民ニーズへの対応を図る ― 情報共有の推進 ______ 多様な媒体を通じての情報提供 一 市政への市民参画の仕組みづくり ― 情報通信基盤を活用した電子自治体の構築 個人情報保護制度と情報公開の適正な運用を図る ___ 情報公開の推進 —— 個人情報の適切な管理 適正で効率的・効果的な行政運営を推進する — 人事制度・定員管理の適正化 _ 職員の資質向上 ___ 委託化の推進 _ 入札制度の確立 - 公有財産の適正な管理 持続可能な財政運営を実現する 一 財政基盤の確立 --- 健全で効果的な財政運営 ― 公平・公正な課税と収納 ___ 収納率の向上 戦略的に行政経営を推進する — 総合的で計画的な行政経営の推進 – 効率的なマネジメントシステムの構築 — 広域行政の推進 ── 国・京都府等との連携推進